甘い思い出がある人も多いのでは？（「アケビ」写真：K.N.さん）

生態園 NEWS Letter

No 199 **2020/11**

NPO法人
茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会事務局
Tel : 045-945-0816
E-mail seitaien@ybb.ne.jp
URL https://www.seitaien.com/

【昆虫】

写真・文：山村靖男

【ホソミイトトンボ】
胸部側面と腹端が青く、又、頭部後部にある紋が大きい。成虫で越冬します。(10/2)

【ミドリヒョウモン】
夏の暑い時期は休眠します。主に見られるのは初夏と秋となります。(10/4)

【ショウリョウバッタモドキ】
体は緑色で背は茶色。湿っぽい草原を好みます。(10/20)

【アサギマダラ】
春は北上し、秋には南下を繰り返す「渡り」チョウで知られています。(10/4)

【植物】

写真：K.N.さん(10/19, 26, 31)

【オケラ】

【カラスウリ】

【サガミラン】

【トキリマメ】

【ユウガギク】

【ツクバトリカブト】

【キチジョウソウ】

前号(No.198)の「だれの足跡？」

答え 「タヌキ」

里山で4本指の足跡を残す動物はイヌ・ネコ・タヌキ・キツネの4種で、形と鋭い爪跡から「タヌキ」と見られます＊。周りにはザリガニの殻がたくさん落ちていたので、夜、ザリガニを食べに来ていたと推測されます。（赤木）

＊参照：https://buna.info/article/3415/

【10月のイベント・作業レポート】

稲刈り（10/3、4）

密を避けるために2日間に分けて、少人数ずつの収穫作業となりましたが、例年と同じぐらいの時間で作業を終えることが出来ました。

写真：中村昌弘

草木染（10/15）

クズの葉と桜のチップでの染色を、講師の方のご指導のもと、サポーター（おとな）４名とスタッフ2名で試行しました。クズは淡い緑がかった黄色、桜チップは落ち着いた赤色に染まりました。

作業の合間に小さなフレームで自然物を枠取る芸術活動も。

秋の虫観察会（10/18）

雨の次の日のためかトンボは少なかったですがカマキリやバッタ、チョウなど秋の虫を観察することができました。

写真：中村昌弘

【12月上旬までのイベント・作業】

詳細・お申込み・開催可否の確認はwebで♪

日時	活動	内容	対象
11/14(土) 10:00～＊	米作り(作業)	脱穀 〈雨天翌日〉 ＊作業終了が午後になる可能性あり	昔ながらの米作り 経験者(年間登録)
11/21(土)、29(日) 10:00～12:00	保全(作業)	ササ刈り・低木刈り等 〈荒天中止〉 ＊軽食なし・飲み物は各自用意	おとな 小学生は親子
11/21(土) 10:00～14:30	想ネイチャークラフト 野外教室	木の実・草の実など使って自由に動物などを作ります 〈雨天中止〉	こども～
11/21(土) 13:30～15:00	クリスマスリース作り	小枝を組み合わせてクリスマスリースを作ります〈雨天翌日〉	こども～
11/28(土) 10:00～11:30	野の花ウォッチング	秋の実を観察します 〈荒天中止〉	中学生以上
12/5(土) 10:30～11:30	森となかよし キッズイン 生態園	五感を使ってキッズネイチャーゲームを親子で楽しみます 〈雨天翌日〉	未就学児親子 （4～6歳）

❗いずれのイベントも、新型コロナ感染拡大状況により直前でも中止となる場合がございます。

【かいぼりの実施】 11/7(土)に、例年行っている御手洗池のかいぼりを行います（雨天翌日、今年は生態園スタッフと横浜市関係者のみでの作業）。実施日前後も、底質環境改善のために底泥を空気に晒す低水位期間を設けます。沿岸部にいたドブガイは沖に一時避難させる等、生きものへの負荷の軽減に配慮しながら行っております。

【事務局から】 20年度会費納入がまだお済みでない方は、詰所にて直接、もしくは下記口座へのお振込によりご納入だけましたら幸いです。よろしくお願いいたします。

ゆうちょ銀行　店名：098　店番：098
項目：普通　口座番号：0019070